

財団だより

第143号

2014.12

# 多摩川



Photo & Text  
遠藤 颯彦 (Hidehiko Endo)  
渋谷区在住

## ● 多摩川原橋付近からの富士の冠雪

### Contents 目次

巻頭言 .....	2
特別寄稿 .....	3
多摩川スケッチ散歩 (15) .....	4
多摩川に学ぶ .....	6
多摩川散歩 .....	7
私と多摩川 .....	8
歴史・多摩川 .....	9
インフォメ多摩川 .....	10
財団からのお知らせ	
助成研究募集のご案内 .....	13

## 巻頭言

### 多摩川流域の気候学



筑波大学名誉教授  
第6回とうきゅう環境財団  
社会貢献学術賞受賞

吉野 正敏

約60年にわたる私の気候学研究のなかで、最も力をそそぎ、日本ばかりでなく世界各地の気候解明に少しでも役立ったかなと思う分野は、“小気候”あるいは“局地気候”と呼ばれる狭い地域スケールの現象の研究である。

気候と気象を混同される場合もあるが、厳密に言うと、気象はある時刻における大気現象・天気である。気候とは1年を周期として繰り返される大気現象で、人間の生活や社会、動植物の生育に関係する。したがって、“今日の気候はよい”という表現は間違いである。例えば、地球温暖化などは、長い時間、数十年以上の気候現象の代表的なものである。

多摩川は全長約138km、流域面積1,240km<sup>2</sup>だから、流域全体がちょうど小気候、局地気候の研究対象として好適である。また水源地域は海拔2000mを越えない。高山を含まないので、海拔高度差以外の条件が強くて複雑にはなるが、かえって研究対象としては興味がある。

多摩川流域全体としては関東平野の西側の関東山地から丘陵地域、さらには関東平野部に、西北西から東南東方向に細長く位置する。したがって、移動性高気圧に覆われた好天の条件下、あるいは、夏に小笠原高気圧（北太平洋高気圧）に覆われた好天の条件下では、日中は相模湾から進入した南よりの海風が次第に関東山地付近で南東～東南東になり谷風として山麓の丘陵地から西部山地に向

かう。夜間は逆に、西部山地から山風は谷間では西北西の風となって流出し、丘陵地域から平野部では北よりの関東平野部の陸風と合流して相模湾へ向かう気流となる。多摩川最下流部では西北西の陸風として東京湾に吹きだす。温帯低気圧・熱帯低気圧・台風が来たような悪天のときにはこのような関東平野と相模湾・東京湾・鹿島灘を含むようなスケールの気流は発生しない。まして、多摩川流域の地域スケールでは、地域差は小さい。

「多摩川誌」(1986)によると、多摩川流域の気候は5地域(A～E)に区分される。すなわち、上流 地域A：西部山地(日の原村以西)、地域B：山麓丘陵地域(あきるの市以西)、中流 地域C：内陸中流地域(武蔵野市以西、日野市・国立市を中心とする)、下流 地域D：準都市気候地域(石原より下流域)、地域E：都市気候地域(田園調布より下流)。

各地域における“小気候”・“局地気候”のスケールの問題点は次の通りである。(1)都市気候地域の拡大  
上記の地域D、

Eが日中・夜間の高温、いわゆる東京のヒートアイランドが強化されるのにもとめない拡大する。(2)緑地の減少 日中と夜間の気温差が小さくなっていく。極端な高温が増加し熱中症などが増えてくる。

(3)夜間の陸風・山風の弱化 海岸部では都市化により、山地部、山麓丘陵部は緑地の減少により夜間の温暖化傾向がつよまり陸風・山風が弱くなり、また吹走時間がへる。大気汚染物質の停滞を招くおそれがある。(4)洪水・土石流などの増加 強雨・豪雨の増加、居住人口増加による被害が深刻化する。

さらなる研究が必要である。



# 特別寄稿

## 日本地球惑星科学連合のご紹介

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
事務局 杉村 洋平

公益社団法人日本地球惑星科学連合 (Japan Geoscience Union; JpGU) は、地球惑星科学という学問を研究する研究者や、この学問に関心をもつ方々を会員とする学術団体です。

地球惑星科学を構成するたくさんの分野や関連分野の研究をする研究者・技術者・教育関係者・科学コミュニケーター、そのほか地球惑星科学分野に関心をもつ学生や一般市民の方々が個人会員として加入しています。2014年11月1日現在、個人会員数は8,000名を超え、関連する50の学協会が団体会員として加盟しています。

地球惑星科学という学問は、地球物理学、地質学、鉱物学、地理学などの幅広い学問分野が集まったもので、さらにそれぞれの分野が気象学、地震学、火山学、岩石学、堆積学、古生物学、陸水学、地形学・・・などに細かく分かれています。

わが国には地球惑星科学に関連する学協会がたくさんあります。日本地球惑星科学連合は、それらを束ねる組織として2005年に発足しました。2008年12月1日には法人化され、2011年12月1日に公益社団法人日本地球惑星科学連合となりました。

学術活動の中心となるのは、地球惑星科学全体をサイエンスの視点から大まかに区分した「宇宙惑星科学」「大気水圏科学」「地球人間圏科学」「固体地球科学」そして「地球生命科学」の5つのサイエンスセッションです。

主な活動の一つに、毎年春に開催する学術大会「日本地球惑星科学連合大会」、通称「連合大会」があります。

2014年の連合大会は4月末の5日間、神奈川県のパシフィコ横浜会議センターで開催し、7,000名以上の来場者が集まりました。口頭発表とポスター発表を合わせて3,800件もの発表があり、最新の研究成果についての発表と熱い議論がなされました。



連合大会口頭発表の様子



連合大会ポスター発表会場

もう一つの学術活動として、2014年4月にオープンアクセス電子ジャーナルの「Progress in Earth and Planetary Science」(略称「PEPS」)を創刊し、世界中の地球惑星科学研究者からの最新の研究成果を取りまとめた学術論文の投稿募集を開始いたしました。



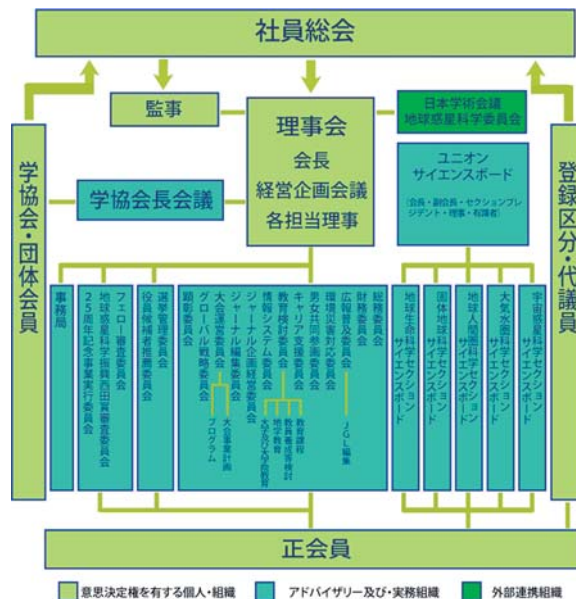
秋の講演会

ところで連合大会では、「パブリックセッション」という一般の方向けの公開セッションも開催しています。一般の方々や学部生、高校生等にも地球惑星科学の成果を広くお知らせすることを目的としています。このパブリックセッションはどなたでも無料でご参加いただけます。次回2015年の大会は5月24日(日)~28日(木)に千葉県幕張市幕張メッセ国際会議場で開催いたします。ご関心のある方は、ぜひ足をお運びいただき、最新の地球惑星科学の成果に触れてみてください。

また他にも、毎年秋冬には一般の方向けの講演会を行っているほか、ニュースレター誌を年4回発行しています。

このように、日本地球惑星科学連合は、日本の地球惑星科学コミュニティーを代表し、国際的な連携、社会への情報の発信、関連する分野の研究活動と情報交換の促進などさまざまな活動を通じて、地球惑星科学全体の振興と普及に寄与することを目的として活動を行っています。加盟学協会とも連携しながら、わが国の地球惑星科学を活性化し、将来的にはアジア・オセアニアを拠点とする世界の中の基軸のひとつとなることを目指しています。

日本地球惑星科学連合ホームページ：  
<http://www.jpgu.org/>



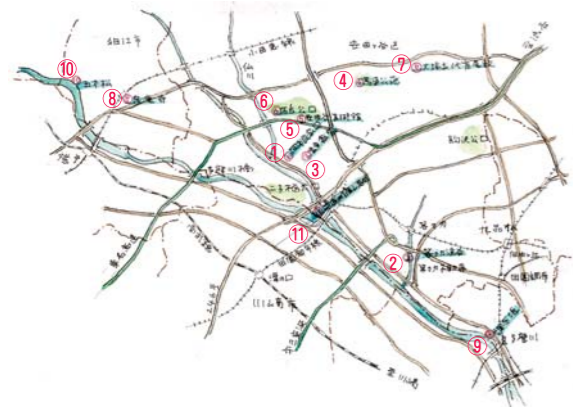
日本地球惑星科学連合組織図 (2014年11月1日現在)

# たまがわスケッチ散歩 (15)

## 多摩川中流部 調布市～世田谷区

多摩川もこの付近にあると河川敷も広々として流れは緩やかとなりスポーツ施設に使われ庶民の憩いの場となっている。周囲は全体的には戸建て住宅であり、少子化の影響が軒が小さくなりいわばびっしり状態で全体を埋め尽くしている。

そんな中で、古くからある公園は貴重なオアシスとなり、子供たちの元気な声を聴くことができる。



① 岡本公園民家園  
下の静嘉堂の南隣にある世田谷区立の民家園で江戸後期の付近にあった農家。ご近所のコミュニティーセンターとしても使われているようだ。



② 等々力渓谷と不動の滝

国分寺崖線の多摩川合流地点にできた開析谷で渓谷内は遊歩道が整備され素晴らしい緑のトンネルとなっている。



③ 静嘉堂美術館と文庫

三菱の創始者である岩崎親子が集めた国宝7点を含む美術品や和漢の古典籍の収蔵所。公開もされているが現在はリニューアル改装休館中。背中側にはジョサイア コンドル設計の墓所がありスケッチのメッカとしても有名。



④ 馬事公苑

人馬の馬術訓練や騎手養成、あるいは馬事に関する知識の向上を目指して中央競馬会が設立したもの。自由に入ることができ、馬とふれあい、日本庭園なども整備されている。



⑤ 世田谷美術館

砧公園の一角にあり、建築家内井昭蔵による空間で「芸術とは何か」という根源的なテーマのもとに文化活動をつづけているユニークな美術館。

⑥ 砧公園

紀元2600年記念の大緑地として建設され、戦後は都営のゴルフ場となり昭和32年に現在の公園となった。桜の名所としても有名であるが広大な敷地は野球場・サイクリングロード・ミニサッカー場なども整備されている。



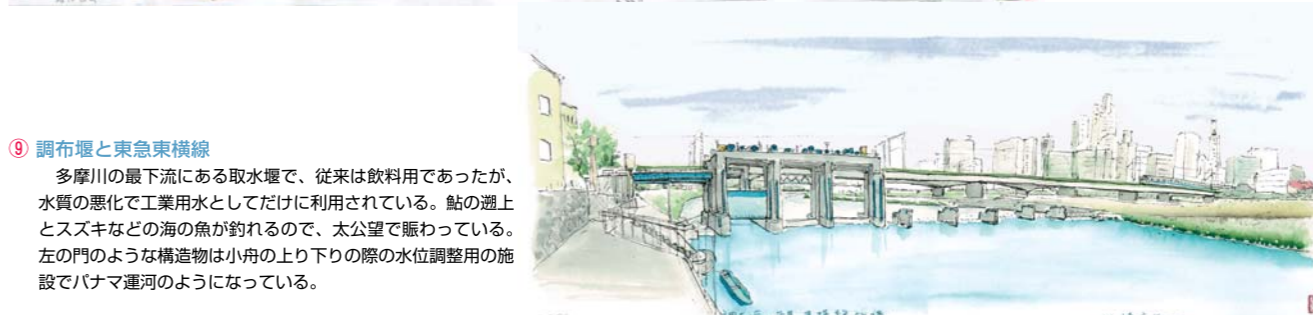
⑦ 大場家 代官屋敷

国の重要文化財に指定されている世田谷村の代官大場家の主屋を庭からスケッチしたもので、代官所としての特徴機能を知ることが出来る。中央は井戸で右は土蔵。



⑧ 雲松山 泉龍寺

小田急線狛江駅前にあるこんもりとした木立の中にある禅寺。山門を入ると正面にある2層の鐘楼とその裏にある荘厳な本堂とその右の庫裏を1枚のスケッチで収めたもの。境内の東南の隅には弁天池という湧水池があり、付近の農業用水として使われている。



⑨ 調布堰と東急東横線

多摩川の最下流にある取水堰で、従来は飲料用であったが、水質の悪化で工業用水としてだけに利用されている。鮎の遊上とスズキなどの海の魚が釣れるので、太公望で賑わっている。左の門のような構造物は小舟の上り下りの際の水位調整用の施設でバナマ運河のようにになっている。



⑪ 二子の渡し跡

江戸防衛の最前線として多摩川の架橋は制限されていたので大山街道は現在の二子玉川駅付近で246号と田園都市線鉄橋の間で二子の渡しで結ばれていた。その名残は全く見ることはできないが川崎側に小さな立札として僅かに残っている。



⑩ 五本松

桜並木と広い河原、水道橋のアーチと黒松の林などのコントラストが見事な風景となり季節になると大賑わいとなる。調布の元大映映画撮影所に近いこともあって時代劇のロケ地としてよく使われていたとのこと。

画と文 野尻明美 (のじりあけみ)

一級建築士、工学博士(東北大学)  
科学技術庁長官賞、紫綬褒章 受章  
東急ハンズ大賞クラフトの部 入選  
「水彩スケッチと10の活用術」  
日貿出版社 他技術書多数

# 多摩川に学ぶ

## 府中水辺の楽校



府中水辺の楽校運営協議会

会長 川辺 万吉

府中水辺の楽校では、小学生とその保護者が参加する水辺の楽校を通して、自然体験が少ない若い親世代も子どもと一緒に川の水辺の危険と安全を遊びながら学習することによって川に慣れ親しみ、身近な自然の大切さを学ぶ貴重な機会を提供しています。

「水辺の楽校」は、「水辺で学ぶ学校」であり、学校といっても校舎や教室はありません。「川」そのものが教室であり、先生です。川遊びをしたり、生きものや植物などを観察したりしながら、机の上では学べない色々なことを学びます。楽しみながら学ぶことを大切にしている「楽校」です。

「水辺の楽校」を管理・運営しているのは、河川管理者（国）と自治体、市民、学校などで構成する運営協議会です。地域が一体となって子ども達と水辺の関係を考え、地域の特色を生かした取り組みを行います。

水辺の楽校は、全国で約300か所、多摩川流域では20か所で活動されております。多摩川での水辺の楽校といっても、源流から河口まで地域の特性を生かし、それぞれ特色のある水辺の楽校を展開しています。府中水辺の楽校は、多摩川河口から約32kmの中流左岸、大丸用水堰周辺の水辺で活動をしています。

府中水辺の楽校は、自治会、小学校、国土交通省、市民団体、市教育委員会などが構成する運営協議会で成り立っています。委員の方には、子どもの頃から多摩川で遊び、府中の多摩川のことをよく知っている方も多くいます。その他には、植物、昆虫、鳥、石に詳しいスタッフが協力しています。経験を持った市民、自治会、学校教諭や市民団体など多種多様な人材が集まり、多摩川漁業協同組合や府中市郷土の森博物館（公益財団法人府中文化振興財団）などと連携した事業活動を実施する体制を作っています。

また、活動場所となる多摩川大丸用水堰に近い矢崎小学校においては、学校をあげての協力体制が得られており、多くの先生がイベント時に協力してくれています。

年間の活動は6月に指導者を対象とした安全講習会からスタートします。講習会では、とどろき水辺の楽校の協力で安全管理に対する知識の習得と、意識向上を目的に実施しています。6月から1月まで、ほぼ1か月に1回のペースで、イベントを実施していま

す。夏場は、ガサガサ魚とりや魚のつかみどり、カヌー体験など川での活動を中心にを行います。夏休みには、多摩川源流研究所の協力により、山梨県小菅村にて1泊2日の多摩川源流体験教室を開催しています。秋には、昆虫採集、キクイモ探し、冬には河原の石を探して、オリジナルの石の標本箱を作ったりと、四季の変化を感じながら、多摩川から様々なことを学んでいます。



ガサガサ魚とり



おさかなタッチプール

昨年から多摩川の下流について学んでみようとして、だいし水辺の楽校の協力で大師河口干潟で観察会も実施しています。

また、府中の水辺の楽校の特徴の一つとして、市内の小学校の3～4年生が行う総合的な学習の時間の協力をしています。各学校の学習テーマにあわせながら、自然観察や体験学習の支援をしています。

2月には、1年間の活動を報告する活動発表会を行います。年度当初に小学3年～6年を対象に募集した子ども実行委員と子ども実行委員を卒業した中学生（チューター）が、それぞれのイベントの感想を盛り込んで、子ども達主体の発表会を実施しています。

年間の活動実績としては、8～9回程度のイベント開催と、小学校の総合的な学習の時間で、小学校5～6校に15回程度の支援を行っています。繰り返し楽しみに参加してくれる親子もいます。参加した大人の方が夢中になってしまう光景もよく見られます。

平成25年度は、イベントと小学校の支援をあわせて、延べ1,827名の参加がありました。

府中水辺の楽校は、平成18年7月22日に第1回イベントを開始してから、今年で9年目となり、来年10周年を迎えます。昨年の9月14日には、累計参加者数が、1万人を突破しました。

これからも多くの子ども達が身近な多摩川で楽しく学べるよう取り組んでいきます。



集合

## 多摩川散歩

### もうすぐ10年!多摩川源流大学



多摩川源流研究所  
多摩川源流大学

石坂 真悟

多摩川源流大学は2006年から小菅村と東京農業大学が中心になって実施している学生や社会人に「体験実習」を提供するプログラムです。

小菅村全部を大学キャンパスに見立てて農業や森林・森林林業、生活文化について実際に体験をしながら学び自分の生活を見直すことを目的にしています。

実習の先生には大学の先生や各方面の専門家はもちろん、村の皆さんにも登場頂き参加者の指導を行っております。このプログラムの卒業生は、日本各地で地域おこしや地域を元気にする仕事に従事しています。

#### \* 何が学べるの？

座学では農山漁村の現状や現在の社会の動き等を農大の先生や専門家から学びます。そして、その知識を小菅村で実体験として学び、より深い理解をします。より学びたい学生には村に何度も訪れ、地域課題の解決について考える授業や、地域の魅力を生かした商品開発の授業を受講することも出来ます。

#### 活動報告

##### \* 他大学と連携し村内イベントを開催！

もっと多くの人に小菅村の魅力を知らせようと、村内をのんびり歩いてもらい、村の方々のお家で交流を深めてもらうイベント「こすげお散歩ゆ～の路」を9月21日(日)に開催しました！村内で活動する様々な大学が小菅村の美味しいものを使った店を出店し普段の活動報告を行いました。

##### \* 村唯一の長作たんぼ今年も豊作！

源流大学の授業だけでは飽き足らず、村を好きになった学生たちが組織して創った「源流放課後の会」この学生たちの重要な活動の一つに「田んぼの維持と稲作」があります。

35年間田んぼのなかった小菅村で学生と住民の方



と一緒に復活させた村で唯一の田んぼです。毎週のように村に通って育てたお米が今年も無事できました。

#### \* リニューアル！多摩川源流大学 HP

つまらない！更新されない！なにをやってるかわからない！でおなじみだった多摩川源流大学のホームページが、執筆陣も新たによりやくリニューアルいたしました。

小菅村や多摩川でできる面白いことや疑問の解決、チャレンジ企画などについて、スタッフや学生のコラムを掲載。源流大学の活動と村の様子を紹介いたします。HP 多摩川源流大学 (<http://genryudaigaku.com>)

#### イベント紹介 (実習紹介)

##### \* 小菅村の魅力を発信！特産品の商品開発披露イベント！11月22日(土) 都内某所

小菅村には都会の人たちから見ると魅力的な資源がたくさんあります。その資源をもっと多くの人に知ってもらうために、プロのデザイナーやコピーライターを招き商品を考える授業を行っています。こんにゃく、じゃがいも等の小菅食材をテーマにするチームや小菅村の新たなスイーツを開発するチーム等3チームが毎週話し合いを行っています。

##### \* すでに満員御礼！自分で捌く「猟師と一緒に山歩き」2015年1月31日(1泊2日)

小菅村の猟師さんたちに協力をお願いして「猟師と一緒に山歩き」というプログラムを開催しています。山で獲物を追う猟師さんは私たちが普段行う山歩きとは違う山の歩き方や見方をしているため、一緒に歩くと全く違う世界を垣間見ることが出来ます。

運が良ければ事前に獲って保存しておいた「鹿」を解体する作業を体験する事が出来ます。

## 私と多摩川

### 「国立まと火」の開催について



国立クリーン多摩川実行委員会  
実行委員長 丸本 大

平成 26 年 7 月 31 日午後 7 時 30 分、国立市多摩川河川敷に「国立まと火」が多摩川で初めて点火され、多摩川河川敷で千余名の来場者が幻想的な松明の火に酔いしれた。

国立市では、過去 27 年の間、秋田県合川町と児童交流が行われていたが、平成 17 年の市町村合併のため交流が中断されていた。この度クリーン多摩川国立実



行委員会の 30 周年記念事業として、河川敷で何かできないか検討していたところ、元児童交流会会員の梅林修二氏から「まと火」の提案があり、実行員会で調査することになった。

本年 3 月 21 日春彼岸の中日に、合川でまと火があるとの情報が入り、元児童交流会会員のうち都合がつく 5 名 佐藤一夫氏、石塚陽一氏、川島操氏、梅林修二氏、丸本 大が現地調査に北秋田市合川地区へ飛んだ。

積雪の風景の中に点々と灯る火がすばらしく、雪の中を各地区のまと火を見学させてもらった。受け入れてくれた合川地区の元児童交流会員の方々と懇談し、まと火を国立市で行うことに同意していただき、さらに応援に来て下さることになった。

合川地区では、春彼岸の中日に各地区の墓場や寺の周辺で点火され、夏のお盆の迎え火として各地区合同で阿仁川の土手 1200 m にわたって、点火され「合川ふるさと祭り」の一環として 42 回も実施されている。まと火の起源は江戸初期に茨城から秋田移った佐竹氏と地元旧藩士との争いで多くの犠牲者が出し、その霊を弔う為に火を灯したといわれ、現在 38 集落、上小阿仁村周辺を入れると 46 集落が確認されている。

国立市の谷保地区では 8 月 1 日、2 日がお盆となっており 7 月 31 日に迎え火を灯す習慣となっている。本番は来年のためイベントとして、まと火を知っていただくことが先決と急遽実施することになり「国立まと火実行委員会」が 4 月早々発足し準備に入った。

まと火の球（ダンボ）作りは、初めてのため木綿

の球作りは都会地では材料の入手に問題があり困っていたところ、幸いにも市内の（株）藤波タオルサービスの会長より、産業廃棄物となっているタオルの洗濯時に出る糸くずを丸め乾燥した芯材と、不織布を無償提供して頂きそのテープを巻くことで素早く作れることが判明し、それらで資材の準備で 50% 以上既に出来上がったことになった。



早速、国立市老人クラブ連合会と協議し、多摩川周辺のクラブの方々に材料をお届けして作って頂くことになった。

多摩川河川敷 200 m を使用するため、関係行政機関の協力をお願いし、約 600 個のダンボを市内の団体や知人をお願いして、作っていただいた。6 月末には予定数のダンボが完成した。一方資金の調達には、主に個人的な有志の協賛金をお願いして回り、急遽の計画のため公の資金支援はなく、好意を持って迎えてくださった団体や個人の方のお世話で集めさせて頂いた。

開催当日、北秋田市からバス 1 台に中学生と「合川まと火保存会」の計 36 名が前日上京し、国立市民プラザに宿泊し、午前中には立川市の極地研究所と防災センターにご案内し、見学会を行い午後からは現場で「北秋田 国立まと火」の火文字の製作にあたった。国立市では第 3 中学校の生徒が 20 名参加して、北秋田の中学校と交流、点火作業を共同で行った。



国立まと火開催にあたり、市民参加のまと火行事には、善意の有志と、無償で資材や物品の提供が実現できました。全面的に行政機関の協力もあり、市民が共同して完成する事業が芽生始めた感がある。来年は本番を迎えるため、今回の欠点を償ったイベントにしなければと思っている。

国立まと火



2014年07月31日

## 歴史／多摩川 市民が建てた記念碑



NPO 法人多摩川エコミュージアム  
監事 長島 保  
(地域史研究家)

多摩川台公園（大田区田園調布）の崖下に大きな記念碑が、多摩川を見つめるように立っている。碑面には、「多摩川治水記念碑」と深く刻まれ、左側に内務省東京土木出張所長辰馬謙造書とある。この碑、16年余の歳月を要して完成した国の直轄工事による多摩川下流改修工事を伝えている。



浅間神社下の多摩川治水記念碑

後ろ側に回ると、この事業は工費721万円を投じて1918（大正7）年4月に起工され、1934（昭和9）年3月に竣工したことが分かる。さらに22人の氏名がずらりと記され目をひくが、いずれも技師や技手など工事に関係した内務省

の吏員ばかりなのが気になる。

「多摩川改修工事概要」（内務省東京土木出張所）によれば、改修工事は河口からさかのぼること約22km、右岸は神奈川県橘樹郡高津村久地、左岸は東京府北多摩郡砧村宇奈根にいたるまでが、工事対象区間となった。翌年度から、土地収用事務所が設置され、改修に必要な用地の買収が始まった。

その買収総面積は428町8反余に及び、実際の土木工事は、1920（大正9）年度から人力掘削で始まり、その翌年度から機械掘削や築堤工事へと移った。さらには護岸工事や低水路の機械浚渫も進み、昭和に入ると、付帯工事も手がけるなど工事も著しく進捗

して、1932（昭和7）年度には、ほぼ工事は終了した。途中、関東大震災による工事中断も余儀なくされた。以後、多摩川沿岸からは、1974（昭和49）年の狛江水害を除いて、大水害は姿を消し、沿岸住民の悲願は達成された。

長い間、多摩川

下流域の住民は度重なる多摩川水害の苦患に痛めつけられてきた。とりわけ下流域右岸は深刻であった。だからこそ当欄でしばしば指摘してきたように、自らの生活を守り、地域の環境を改善するために互いに知恵をしばり、力を出し合って活動を続けてきた。国や県への度重なる陳情・請願・抗議の行動、さらには調査の数々に当たった。

ときには、あの濁流を必死の思いで渡って県庁へと押し向かった。警官とも対峙した。しばしば会合を重ね、知恵を出して妙案を練った。道路かさ上げ工事に名をかりた代用堤防の発案や水防活動、築堤工事への協力など、力をあわせて労苦をともにしてきたのだ。

ときには、鋭く対立することもあった。とりわけ、対岸東京府がわとの対立は、歴史的背景を有していただけに複雑・深刻であった。その隘路も乗り越えた。

どうであろうか。これら一連の動きのなかに、地域の問題は地域の主人公である住民が、その主導のもとに解決に当たるといふ、地域自治の原点ともいふべき流れをみることはできないであろうか。

先の治水記念碑には、県を動かし、国を動かし築堤を導いた人びとの功業は伝わってこない。去る9月16日、アミガサ事件百年を迎えた。その3日前の13日（土）市民の手によって「多摩川築堤 アミガサ事件百年」の記念碑が、上平間八幡大神の境内に建てられた。すでに95周年に設置の「アミガサ事件集結の地」と題する解説板があり、記念碑と一体化して築堤に献身した人びとは顕彰された。



アミガサ事件百年の記念碑  
(長谷川平三郎さん撮影)



## インフォメ 多摩川

多摩川流域の各種団体等の9月から12月頃まで行われる環境活動に関する主な行事・イベント情報を紹介いたします。

### ☆ 美しい多摩川フォーラム

1. 第7回多摩川子ども環境シンポジウムを開催(12月6日14時~16時半:フォレスト・イン昭和館/昭島市)
2. 第7回美しい多摩川フォトコンテスト審査結果公表(2月2日)(応募受付:12月31日まで)
3. 「多摩の物語」の語り会(3月4日:羽村市生涯学習センターゆとろぎ)
4. 第7回美しい多摩川フォトコンテスト入選作品展(3月10日~15日:青梅市立美術館)
5. 「『美しき桜心の物語』の語り会」(3月22日:大國魂神社/府中市)

問合せ先

美しい多摩川フォーラム事務局(青梅信用金庫 地域貢献部内) 担当:宮坂/土方/及川

TEL:0428-24-5632 FAX:0428-24-4650

E-mail:forum@tama-river.jp URL:http://tama-river.jp

### ☆ みずとみどり研究会

第2回多摩川流域歴史セミナー・第43回多摩川流域セミナー開催のお知らせ

日時 2014年1月18日(日) 9時半より

場所 府中市郷土の森博物館(東京都府中市南町6-32)

アクセス【ちゅうバス(府中市コミュニティバス)】

[南町・四谷循環]に乗車 「南町二丁目」または「芝間稲荷神社」で下車

参加費 無料(なお、博物館への入館料200円が別途必要です)

テーマ 『多摩川の歴史と川づくり(予定)』

内容 多摩川流域セミナーでは多摩川の現場見学と、多摩川の自然や水辺の楽校の活動発表、河川整備などに関する話題提供を実施。その後、川づくりに関する意見交換会を開催します。また、午後からは同会場にて歴史的な目線から多摩川をより深く知る、多摩川流域歴史セミナーを開催します。セミナー終了後は府中市郷土の森博物館内を自由に見学可能。

詳細は未定。決まり次第、京浜河川事務所のホームページでお知らせ致します。

京浜河川事務所ホームページ

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00123.html>

お申込み・お問い合わせ先:多摩川流域懇談会連絡事務局 みずとみどり研究会

連絡先 TEL/FAX 042-327-3169 E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp

### ☆ 一般財団法人 世田谷トラストまちづくり

世田谷トラストまちづくりビジターセンター「身近な自然と触れ合うミニイベント」

・原則毎月第4土曜日 午後1時30分~3時(2/28は午後1時~3時)

~世田谷区成城4-29-1(野川沿い) 要申込/TEL:03-3789-6111

・「みどりの上映会」毎週土曜日 午前10時~午後3時 随時・申込不要

【申込・問い合わせ先】(一財)世田谷トラストまちづくり トラストまちづくり課

TEL 03-6407-3311 FAX 03-6407-3319

財団HP <http://www.setagayatm.or.jp/>

## ☆ むさしの化石塾

## 野外イベント日程

- ・ 12/20 (土) 昭島市内の多摩川流域化石採集会
- ・ 1/17 (土) 狛江市宿河原付近多摩川化石採集会
- ・ 2/21 (土) 昭島市大神町付近多摩川化石採集会
- ・ 3/14 (土) 日野市栄町付近多摩川化石採集会

(参加者申込み確認後・詳細内容につき別途ご案内いたします)

## 室内作業日程 「調べ学習・化石のプレパレーション作業」

希望者につき 別途ご案内の室内調べ学習会場は以下の通りです。

都度5名定員締め切り 要・事前申し込み

場 所：〒208-0003 武蔵村山市中央3-20-7 バス停：武蔵村山市役所下車徒歩3分

野外・室内共に参加費：1,000円(資料代、レク保険別途)当日徴収致します。

## 申し込み方法

上記日程の参加申し込み、入塾希望者は下記のメアドからご連絡ください。

メールにて住所・氏名・学年など、連絡先を明記の上、送信願います。

連絡先：mailto:geo@extra.ocn.ne.jp> 福嶋 徹

\*\*\*\*\*

## GeoWonder 企画 むさしの化石塾

〒208-0003 東京都武蔵村山市中央3 - 20 - 7 MKJ 事務所

むさしの化石館 042 - 567 - 1095 (FAX)

むさしの化石塾 代表 福嶋 徹

Mail: geo@extra.ocn.ne.jp URL : http://fossils.blog.ocn.ne.jp/

\*\*\*\*\*

## ☆ 川崎市域水辺の楽校予定表

川崎水辺の楽校		とどろき水辺の楽校		だいし水辺の楽校	
12月7日(日)	多摩区の外遊び(生田小学校庭)	12月23日(火・祝)	野鳥観察	12月20日(土)	つる編み教室
12月23日(火・祝)	手作り教室(角松・木の実)	1月18日(日)	凧揚げと昔遊び・雑煮大会	1月24日(土)	凧づくり教室
1月12日(月・祝)	凧揚げ大会	1月31日(土)	夢わかめワークショップ	2月21日(土)	野草と野鳥の観察会
2月22日(日)	生田緑地探検		横浜みなとみらい(わかめ収穫)	3月14日(土)	野草と干潟の観察会
3月28日(土)	東名下の湧水で魚捕り	3月15日(日)	多摩川クリーン作戦&焼き芋大会		

共通 2月28日(土) 川崎市域水辺の楽校環境学習発表会

会場：えぼっく中原

## 国土交通省河川協力団体 とどろき水辺の楽校

(運営)

NPO法人 とどろき水辺 理事：事務局 鈴木 眞智子

〒212-0004 川崎市幸区小向西町3丁目64

電話・FAX 044-201-1493 携帯：090-5814-9604

Eメール：machiko@todoroki.org info@todoroki.org

HP：http://www.todoroki.org/

## ☆ 多摩川大学ふれあい移動水族館

		イベント	内容	時間	対象	場所	申し込み	費用	交通	
2014	12月2日	火	調布市保育園 ふれあい移動水族館ボランティア募集	9時30分～12時	大学生以上	6時におさかなポスト管理事務所集合	要	無料	小田急線生田駅徒歩5分	
2014	12月6日	土	美しい多摩川フォーラム 子どもシンポジウム	14時～16時30分	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	フォレスト・イン昭和館(昭島市)	不要	無料	JR青梅線「昭島駅」北口より徒歩10分「昭島駅」北口より無料送迎バスあり	
2014	12月7日	日	東京都 青少協連光寺・聖ヶ丘地区委員会講演会『川や自然から学ぶ「命の大切さ」～タマゾン川』	講演会 14時～16時	高校生以上	都立多摩桜の丘学園	要	無料	小田急線生田駅徒歩5分	
2014	12月11日	木	エコプロダクツ	10時～18時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	東京ビッグサイト [東1～6ホール]	不要	無料	りんかい線「国際展示場」駅下車徒歩約7分 ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車徒歩約3分	
2014	12月12日	金	エコプロダクツ	10時～18時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	東京ビッグサイト [東1～6ホール]	不要	無料	りんかい線「国際展示場」駅下車徒歩約7分 ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車徒歩約3分	
2014	12月13日	土	エコプロダクツ	10時～17時30分	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	東京ビッグサイト [東1～6ホール]	不要	無料	りんかい線「国際展示場」駅下車徒歩約7分 ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車徒歩約3分	
2014	12月14日	日	おさかなポスト 見学学習会	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分	
2014	12月20日	土	多摩川ジュニアガイド 多摩川自然観察会	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分	
2014	12月21日	日	おさかなポスト 見学学習会	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分	
2014	12月27日	土	おさかなポスト懇親会	お餅つきをして多摩川のアユを食べます。おさかなポストに興味のある方ならどなたでもご参加いただけます。	9時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	9時におさかなポスト管理事務所集合 終了は随時個人の都合	要	実費1人千円	小田急線生田駅徒歩5分
2014	12月28日	日	おさかなポスト 見学学習会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分
2014	12月31日	水	多摩川カウントダウン感謝祭	2014年最後のゴミ拾い。多摩川のゼロキロポストまで行き、新しい年を迎えます。	12月31日 23時30分～	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	23時30分に多摩川河口0キロメートルに集合	要	実費1人千円	
2015	1月1日	木	多摩川ニューイヤー感謝祭	2015年最初のゴミ拾い。多摩川のゼロキロポストまで行き、新しい年を迎えます。	～1月1日 0時30分	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	0時30分に多摩川河口0キロメートルで解散	要		
2015	1月4日	日	おさかなポスト 見学学習会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分
2015	1月11日	日	おさかなポスト 見学学習会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分
2015	1月18日	日	おさかなポスト 見学学習会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分
2015	1月24日	土	和光高校親和会教育研究部 講演会『命の川』	講演会『命の川』	15時～17時	高校生以上	和光高校	要	無料	小田急線鶴川駅・京王線若葉台駅 バス
2015	1月25日	日	おさかなポスト 見学学習会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分
2015	2月1日	日	おさかなポスト 見学学習会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分
2015	2月8日	日	おさかなポスト 見学学習会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分
2015	2月15日	日	おさかなポスト 見学学習会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分
2015	2月21日	土	川崎市立坂戸小学校 講演会「教育を語るついで」	講演会「教育を語るついで」	11時～12時	大学生以上	川崎市立坂戸小学校	要	無料	東急 溝の口駅・JR武蔵溝ノ口駅 徒歩10分
2015	3月7日	土	3.11東日本大震災 追憶と鎮魂の多摩川灯ろう流し	魚の放流体験、美化活動、流し灯ろう工作	14時～19時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	川崎市多摩区稲田公園前・京王線鉄橋下流の多	不要	無料	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分
2015	3月8日	日	おさかなポスト 見学学習会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分
2015	3月15日	日	おさかなポスト 見学学習会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分
2015	3月22日	日	おさかなポスト 見学学習会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分
2015	3月28日	土	多摩川ジュニアガイド マルタ産卵場観察会	多摩川に遡ってきたマルタの産卵風景を観察します。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に登戸駅多摩川口に集合	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分
2015	3月29日	日	おさかなポスト 見学学習会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/稲田堤駅下車徒歩6～8分

問い合わせ・お申込み 電話090-3209-1390 山崎

\* ふれあい移動水族館・おさかなポストの会 山崎充哲

申し込み・問い合わせ メールアドレス RiverRanger777@gmail.com

TEL : 090 - 3209 - 1390

## 財団からのお知らせ — 助成研究募集のご案内 —

### 多摩川およびその流域の環境浄化に関する 基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究・活動助成の募集

公益財団法人とうきゅう環境財団（理事長 西本定保）は、1975年（昭和50年）より、多摩川およびその流域の環境浄化の促進や自然環境の保全などに必要な調査や試験研究を毎年公募してきています。その結果、これ迄に1,169件（新規・継続—学術研究731件、一般研究438件、13億8千万円）の調査・試験研究のお手伝いをさせて頂きました。

2015年（平成27年）4月からの助成についても、従来と同様、意欲的な調査や試験研究を募集致します。

#### 1. 応募資格者

下記研究対象テーマに掲げた調査や試験研究に意欲のある方であれば、どなたでもご応募いただけます。

#### 2. 助成研究対象テーマ

産業活動または住生活と多摩川およびその流域との関係に関する調査および試験研究

排水・廃棄物等による多摩川の汚染の防除に関する調査および試験研究

多摩川およびその流域における水の利用に関する調査および試験研究

シンポジウム、音楽会あるいは出版等による環境啓発活動や、歴史的な遺産あるいは社会システムの維持保全・回復運動等、多摩川及びその流域における環境保全や文化の創造に広く寄与するもの。

#### 3. 応募方法

当財団所定の申請書に必要事項を記入、捺印の上、財団宛ご提出下さい。

「募集要項」「申請書」はホームページ上からダウンロードしてください。

<http://www.tokyuenv.or.jp/invite>

#### 4. 助成の決定

2015（平成27年）年3月に開催予定の当財団選考委員会で選考のうえ、理事会に諮って最終的に決定致します。

#### 5. 応募締切日 2015年（平成27年）1月15日（木）消印有効

#### 6. 応募にあたっての注意事項

ご応募にあたっては当財団の定める「調査・試験研究助成に関する調査・試験研究の選定基準、助成の方法、調査・試験研究の実施方法、助成金の支払い方法ならびに調査・試験研究者の個人情報保護の方法に関する規程」を必ずお読み下さい。

過年度に不採用となった調査や研究の再応募は受付けておりませんので、同一の調査・試験研究課題で再応募される場合は、前回のものと調査や試験研究の内容のちがいがよく判るよう工夫して、申請書をご作成下さい。

（次ページへ続く）

7. 助成研究の種別と諸条件

研究の種別	学術研究	一般研究
研究の区別	環境問題改善のための調査や試験研究で、専門性が高く、その分野の学識経験を必要とするもの。 (財団のホームページで過去の研究事例をご参照下さい)	環境問題改善のための調査や試験研究で、一般の市民が、特別な学識経験を必要とせず取り組めるもの。
1件当たりの助成金総額の上限額	400万円	100万円
単年度の助成金上限額	200万円	100万円
研究期間	最長2ヶ年	最長2ヶ年
助成対象費目	直接研究に使用する器具備品で一個、又は一式10万円以上の固定資産。 (1) 器具備品費 調査や試験研究に用いる各種材料、部品、薬品等。 (2) 消耗品費 調査や試験研究のための交通費、宿泊費等。 (3) 旅費 調査や試験研究のために臨時に雇った人の謝金等。 (4) 謝金 器機・設備などの賃借料、通信費、その他。 (5) その他	
尚、一般研究については、従来からの調査・試験研究に加えて、シンポジウム、音楽会あるいは出版等による環境啓発活動や、歴史的な遺産あるいは社会システムの維持保全・回復運動等、多摩川およびその流域における環境保全や文化の創造に広く寄与すると思われるものも選考の対象といたしましたので、奮ってご応募下さい。		

当財団の概要

**設立** 2010年10月1日  
**主務官庁** 内閣府  
**基本財産** 978百万円  
**財源** 基本財産等の運用収入並びに寄付金  
**事業内容** 研究助成事業  
**1 研究助成** 総助成件数 1,169 件  
 (学術 731 件、一般 438 件)  
 総助成金額 1,382 百万円  
**2 学習支援** 副読本制作配布 278 千部  
**印刷刊行物** 研究助成成果報告書学術編  
 研究助成成果報告書一般編  
 環境副読本(毎年)7,000部

- |         |        |                        |
|---------|--------|------------------------|
|         | 中村 英夫  | 東京都市大学 名誉総長            |
|         | 中村 良夫  | 東京工業大学 名誉教授            |
|         | 涌井 史郎  | 東京都市大学 教授              |
| [常務理事]  | 小野木 喜博 | 当財団 事務局長               |
| [監事]    | 岩田 哲夫  | 東京急行電鉄株式会社 常勤監査役       |
| [評議員]   | 井原 國芳  | 東京急行電鉄株式会社 顧問          |
|         | 海老原 大樹 | 東京都市大学 名誉教授            |
|         | 越村 敏昭  | 東京急行電鉄株式会社 取締役会長       |
|         | 佐々木 謙二 | 横浜商工会議所 会頭             |
|         | 鈴木 學   | 株式会社 日立製作所 技監          |
|         | 高橋 裕   | 東京大学 名誉教授 / 選考委員長      |
|         | 鳥井 信吾  | サントリホールディング株式会社 取締役副社長 |
|         | 水田 寛和  | 株式会社 東急百貨店 顧問          |
|         | 山口 裕啓  | 学校法人 五島育英会 理事          |
|         | 山田 長満  | 川崎商工会議所 会頭             |
|         | 溝 英樹   | 株式会社 東芝 関東支社長(兼)総合営業部長 |
| [選考委員]◎ | 高橋 山文  | 東京大学 名誉教授              |
| (◎は委員長) | 奥 堀洋美  | 東京海洋大学 客員教授            |
|         | 小 宮輝之  | 上野動物園 元園長              |
|         | 小 斎藤潮  | 東京工業大学大学院 教授           |
|         | 新 藤静夫  | 千葉大学 名誉教授              |
|         | 鈴木 信夫  | 昭和女子大学 客員教授            |
|         | 田 畑貞寿  | (公財) 日本自然保護協会 顧問       |
|         | 土屋 十園  | 前橋工科大学 名誉教授            |
|         | 寺 西俊一  | 一橋大学大学院 教授             |

役員・評議員

- (敬称略 50音順)
- |       |         |                         |
|-------|---------|-------------------------|
| [理事長] | 西 本 定 保 | 東京急行電鉄株式会社 顧問           |
| [理事]  | 池 島 政 広 | 亜細亜大学 学長                |
|       | 石 渡 恒 夫 | 京浜急行電鉄株式会社 取締役会長        |
|       | 植 木 正 威 | 東急不動産ホールディングス株式会社 取締役会長 |
|       | 大須賀 頼彦  | 小田急電鉄株式会社 取締役会長         |
|       | 加 藤 奨   | 京王電鉄株式会社 取締役会長          |
|       | 小 長 啓 一 | 東京急行電鉄株式会社 取締役          |
|       | 小 沼 通 二 | 東京都市大学 名誉教授             |

**発行日** 平成26年12月1日  
**編集兼発行** 公益財団法人とうきゅう環境財団  
 〒150-0002 渋谷区渋谷1-16-14  
 (渋谷地下鉄ビル5F)  
 TEL (03)3400-9142  
 FAX (03)3400-9141  
**ホームページ** <http://www.tokyuenv.or.jp/>

